

富山駅周辺整備事業推進協議会の設立について

- 1. 設立趣旨-1-
- 2. 検討内容-2-

平成18年10月25日

富山市

1. 設立趣旨

富山駅周辺の整備については、これまで、「富山駅周辺整備協議会」、「富山駅付近連続立体交差事業検討協議会」等により検討が行われ、駅及び駅前広場整備の基本的方向や、交通広場、街路等の交通施設の配置などについて、基本計画が平成16年度にとりまとめられ、その後、富山港線路面電車化事業、北陸新幹線整備事業、富山駅付近連続立体交差事業及び富山駅周辺地区土地地区画整理事業が、相次いで事業化されたところである。

これまで各事業の都市計画決定や事業認可等を通じて、鉄道高架施設の縦横断計画や駅機能及び駅前広場内の各機能のレイアウトなどの骨格的な計画は決定しているが、今後さらに、駅前広場をはじめとする公共施設の基本設計、実施設計を進めていく上で、円滑な交通処理、賑わいの創出、ユニバーサルデザイン、美しい景観デザイン等、様々な観点から検討を行い、計画設計の熟度を高めていく必要がある。また、県都の玄関口としてふさわしい駅周辺の土地利用を誘導していく必要があり、商業、交流、文化、観光等の様々な機能集積のあり方や誘導方策、さらには、美しいまちなみ景観の誘導などを含め、土地利用計画についても検討を行う必要がある。

特に、富山駅周辺においては連立事業を契機とした南北一体化のまちづくりを進める中で、南のシンボルロードと北のブルーバールを駅前広場と高架下の自由道路で結び、そこに歩行者中心のLRTを含むトランジットモールの空間の実現が構想されている。この整備により、駅周辺土地利用の一体整備による「賑わい空間」創出が期待されるとともに、総曲輪の中心商業地から駅北の富岩運河環水公園までの連携による中心市街地活性化の面での効果も期待される。

以上のような検討の必要性和計画の方向性を踏まえ、学識経験者、関係機関、地元代表等からなる「富山駅周辺整備事業推進協議会」を発足し、事業推進に必要な種々の検討を行うものである。

2. 検討内容

平成15年度～16年度の「富山駅周辺整備協議会」においては、主として都市計画決定に向けた交通計画を中心とした検討を行った。本協議会（「富山駅周辺整備事業推進協議会」）では、このことを受けて土地区画整理事業を中心とした総合的な整備事業の推進に向けて、交通・公共施設計画の詳細検討をはじめ、土地利用等の計画の具体化についての検討を事業プログラムへの対応を図りながら、必要に応じ個別の検討部会の設置も含め、行うものとする。

1) 駅前広場等公共施設の整備計画に関する検討

駅前広場などの公共施設については、タクシープールやバスベイ等の詳細検討をはじめ、路面電車と広場、自由通路等の空間デザインなどのきめ細かい創意、工夫とユニバーサルデザインを実現する必要がある。

そのため、駅前広場等の整備計画をつめ、平成19年度に予定される駅前広場等の予備設計と調整を図りつつ、ユニバーサルデザインを含む公共施設の設計指針をまとめ、実施設計や必要な都市計画決定に結び付けていく。

特に、北口駅前広場、高架下、南口駅前広場へ至る連続的な約37.5m（～60m）×約250mの駅南北を結ぶ新しい空間が生み出されるため、その空間については活用方策・工夫を検討する。

さらに、今後検討される駅周辺における景観形成のあり方や駅周辺トータルデザインの方向を踏まえ、駅舎など北陸新幹線や連立事業と協調した駅前広場等のデザイン指針をまとめ、実施設計や地区計画の策定への反映を図っていく。

【検討項目】

- ① タクシー、バス等の交通処理に関する検討
- ② 交差点等の交通処理に関する検討
- ③ 路面電車軌道と電停に関する検討
- ④ 歩行者動線・空間に関する検討
- ⑤ 駐輪施設に関する検討
- ⑥ 駐車施設に関する検討
- ⑦ 駅前広場のレイアウトに関する検討
- ⑧ ユニバーサルデザインに関する検討
- ⑨ 公共施設の景観デザインに関する検討
- ⑩ 賑わい創出空間に関する検討

2) 駅周辺土地利用計画に関する検討

京都の玄関口にふさわしい駅周辺の土地利用については、新幹線の建設にあわせ、その波及効果を広げ、都市開発を誘発するための民間の参加によるまちづくりが重要となる。

そのため、新幹線開業を契機に駅周辺に必要な機能の導入と配置を土地利用計画として具体化し、その計画に基づき隣接街区や高架下空間の活用方向を提示する。また、土地区画整理事業の実施や地区計画の策定などの実現方策を検討する。

【検討項目】

- ① 商業、交流、文化、観光等の機能集積に関する検討
- ② 駅周辺の土地利用計画に関する検討
- ③ 駅周辺の土地利用誘導方策に関する検討
- ④ 高架下の利用計画に関する検討
- ⑤ まちなみ景観の誘導に関する検討
- ⑥ 駅周辺の駐車場に関する検討

3) 施工計画に関する検討

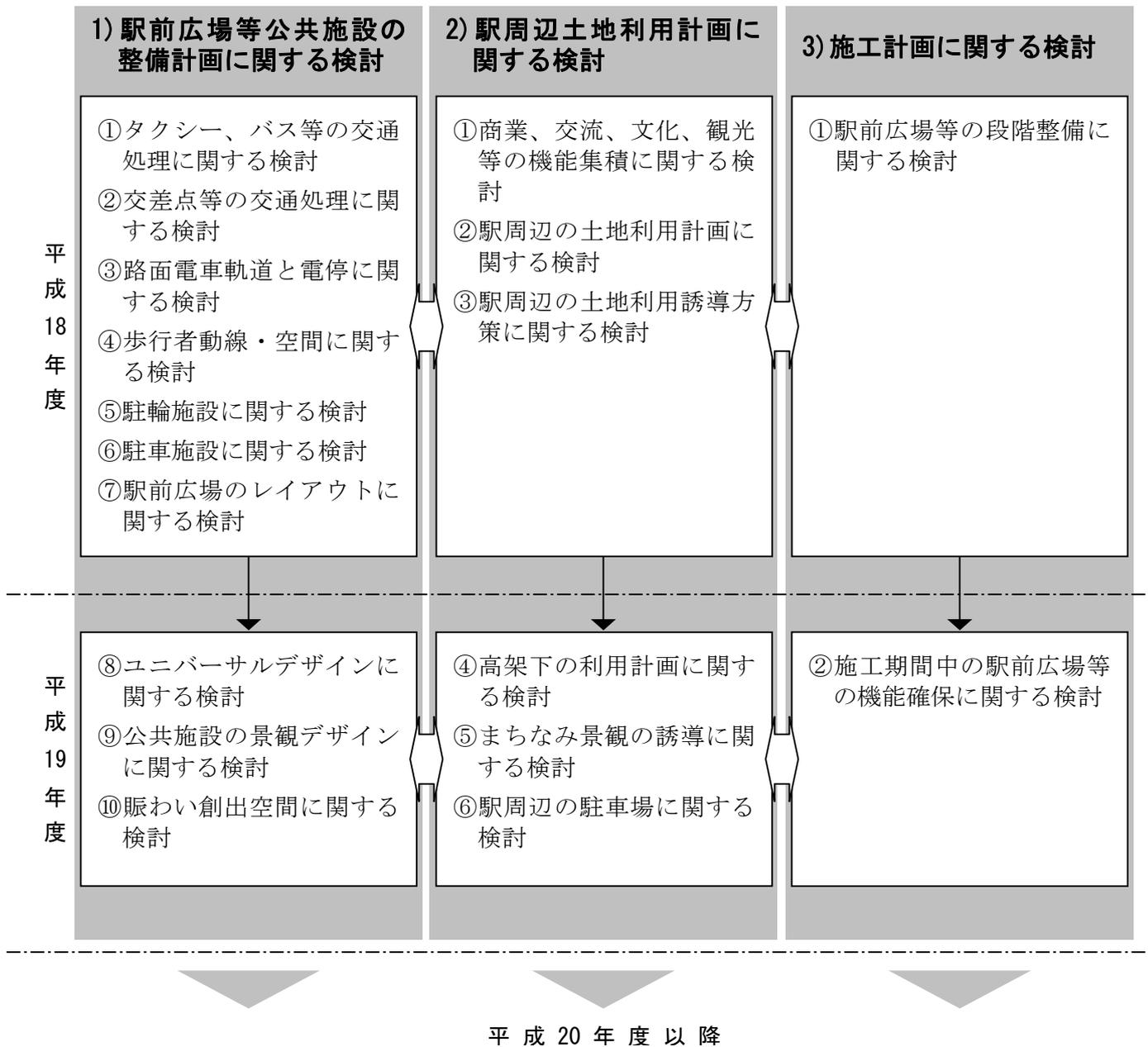
平成26年度末の北陸新幹線完成を中心とした段階的整備を進めていくため、事業の各段階に対応した施工計画を具体化し、必要な措置を適切に講じていく必要がある。

そのため、全体の事業プログラムを整理し、駅前広場をはじめ各事業の段階的整備の計画をつめるとともに、必要な措置に関する検討を行っていく。

【検討項目】

- ① 駅前広場等の段階整備に関する検討
- ② 施工期間中の駅前広場等の機能確保に関する検討

■ 検討フロー



■推進協議会における検討内容と事業プログラム

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
主要事業	設計（鉄道）	高架概略／詳細設計			駅舎基本／実施設計						
	新幹線	(仮設工事)		開業予定							
	連立事業（在来線）	完成								換地処分	
	土地区画整理事業	事業認可		仮換地指定		換地処分					
施設設計	南口仮広場実施設計										
	駅前広場等予備設計										
	駅前広場等実施設計										
工事展開	南口仮広場工事										
	南口駅前広場工事										
	西口交通広場工事										
	北口駅前広場工事										
検討内容	1) 駅前広場等公共施設の整備計画	駅広等詳細設計	ニバ・サルテ・ザ・インの詳細検討		駅広等の活用、運営方策検討						
		駅前広場デザイン指針	駅前広場、駅舎等の設計調整		地区計画の策定						
	2) 駅周辺土地利用計画	駅周辺土地利用計画	高架下利用事業化計画		駅広隣接地区等の開発計画		実施設計/ビルトアップ				
3) 施工計画		段階整備計画	施工期間中の機能確保								

○平成20年度以降は図に示す項目検討（図中——部）を予定し、必要な検討部会の設置を含め、継続して検討する。